

高等科裁縫

第二學年用

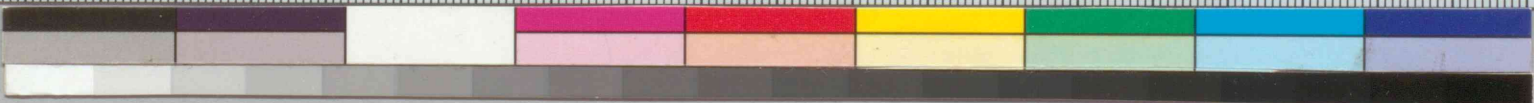
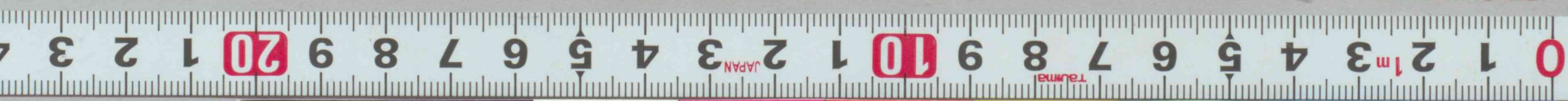
文部省

36
930
0221

50064

教科書文庫

5
920
33-1996
20000 67932



資料室

36  
930  
B821

目録

一	乳兒の着物	一
二	幼兒服	五
三	男兒服	八
四	男物裕長着	十六
五	半幅帶	二十一
六	半てん・羽織	二十三
七	衣類のくり廻し	三十四
八	結び	三十六



一 乳兒の着物

乳兒は發育の盛んな割合に抵抗力が弱いし、暑い寒いと言つて自分で着物の加減ができないのですから、育てる人の特別な心づかひがいりま

一 乳兒の着物

乳兒は發育の盛んな割合に抵抗力が弱いし、暑い寒いと言つて自分で着物の加減ができないのですから、育てる人の特別な心づかひがいります。見た目に美しくかはいらしくといふのは、愛育の情の自然でもありませんが、それよりも、衛生を第一に考へなければなりません。

生後四箇月ぐらゐまでの乳兒は、大抵寝かせておきますから、手や足をほほふ着物を着せます。その後は次第に運動を始めますから、運動を妨げないやうに、また皮膚のためにもなるやうに、工夫します。

材料はなるべく軽く柔かいもの、仕立てはゆるやかに、縫ひ方は全部手縫ひにして、縫ひ目がかさばらないやうに始末します。

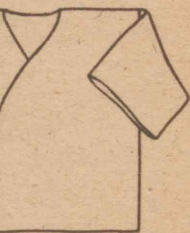
いつもよく乾かして用ひるやうにし、特に夏は涼しく、冬は暖かいやうに、また紐なども、あまりきつくしめないやうに注意しなければなりません。

次の表は、乳兒にほしい衣類の一揃ひを示したのであります。

品目	數	材	料	備	考
肌じゆはん	三	ガーゼ、さらし木綿の類		ガーゼは衿仕立てとする。	
中着	三	白ネルの類		衿は附けなくてもよい。	
胴着	二			綿入れまたは編み物。	
長着	二	スフモス・スフ金巾・人絹・富士絹の類		衿または綿入れ。	
袖なし羽織	一	綿或は眞綿		まちを附けてもよい。衿を裾まで附けてもよい。	

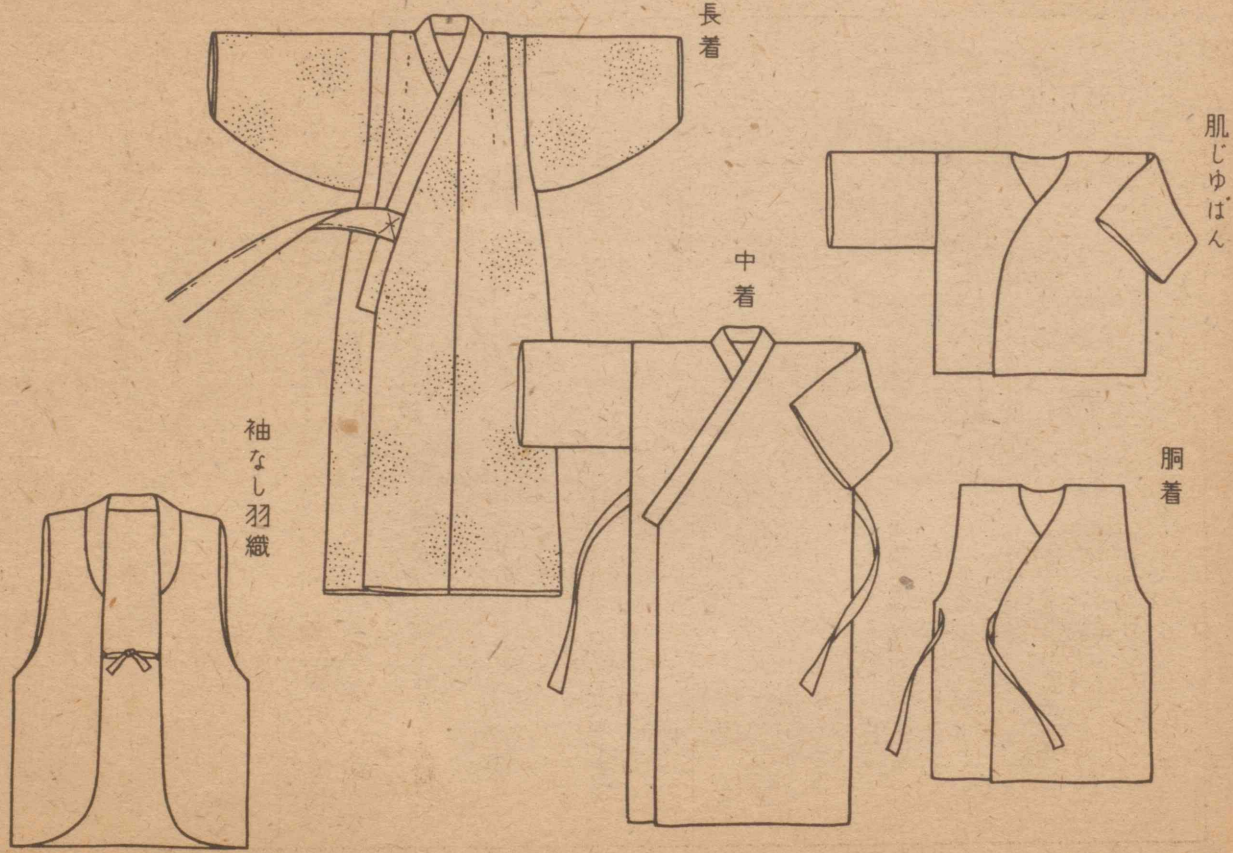
よだれ掛	腹掛または寝冷え知らず	むつき	むつきおほひ	足袋	蒲敷團
四	三	二〇	三	二	一
ガーゼ、さらし木綿・ネルの類	新モス・ネル・タオルの類	さらし木綿・ゆかた地・新モスの類	毛の物（古シャツ・古ズボン下などの利用）	ネルの類、毛糸編み物	スフモス・スフ金巾・人絹・富士絹の類、綿
くびまはりの紐はガーゼがよい。四箇月前後から動かないやうに下部にも紐を附ける。		一二〇センチ（三尺二寸）を輪にしたもの、並幅二枚、半幅一枚を一組とする。四箇月以後は三枚とも並幅にする。	ゴム引き布は用ひてはいけない。		<p>大きさ</p> <p>敷幅 並幅 二布 丈 一一〇センチ （二尺九寸）</p> <p>掛・掛下 並幅表二布・裏三布 丈 一一四センチ（三尺） 綿 百匁附け三枚 毛布があつたら併用してよい。</p>

肌じゅばん



胴着





掛下

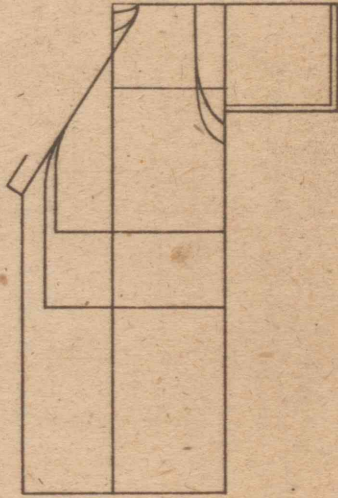
綿

並幅表二布・裏三布  
 丈 一一四センチ(三尺)  
 綿 百匁附け三枚  
 毛布があつたら併用してよい。

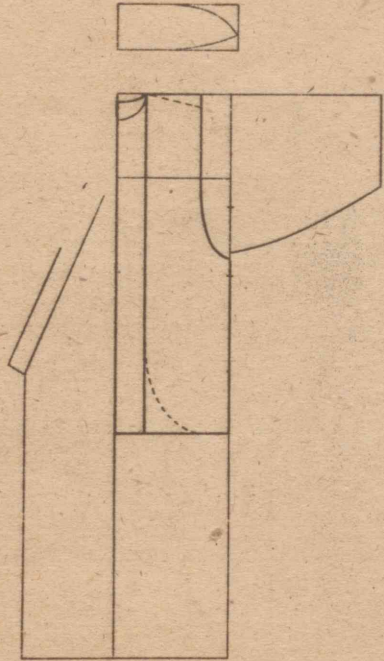
一 乳兒の着物

裁ち方

肌じゆばん・胴着・中着

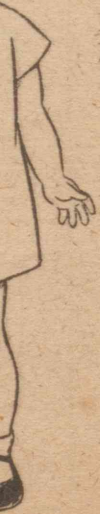


長着・袖なし羽織



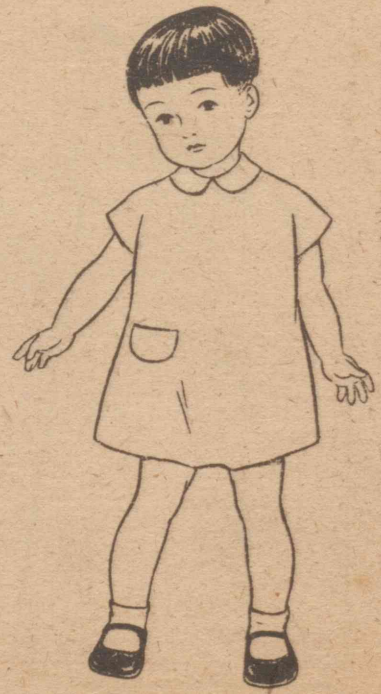
二 幼 兒 服

その一 (二・三歳用)

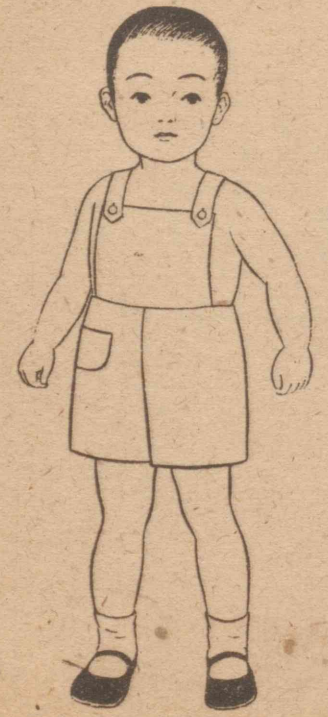


二 幼 兒 服

その一 (二―三歳用)



その二 (三―四歳用)

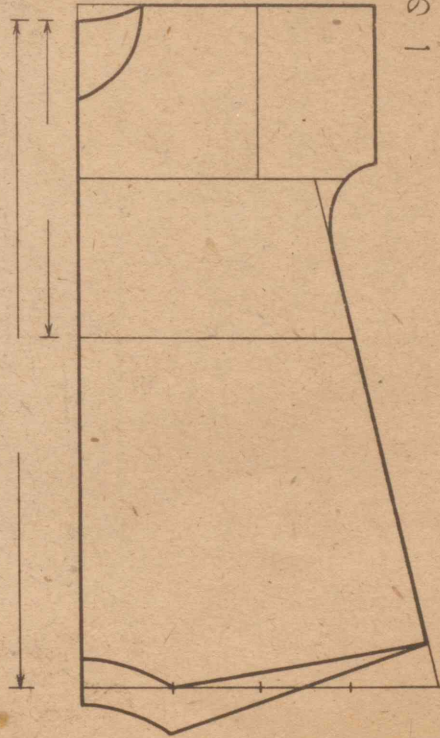


その三 (四―五歳用)

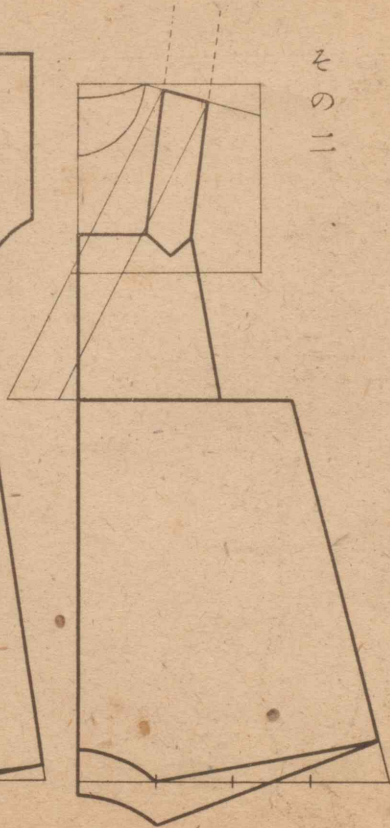


二 幼 兒 服

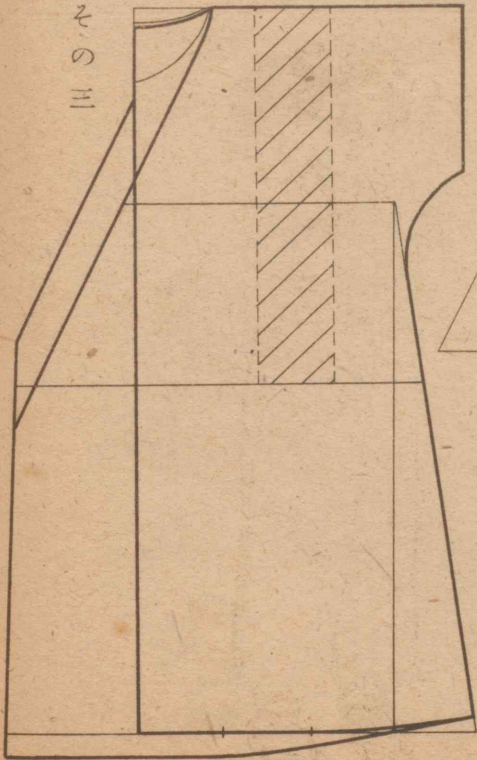
その一



その二



その三



形 其の四 (六—七歳用)

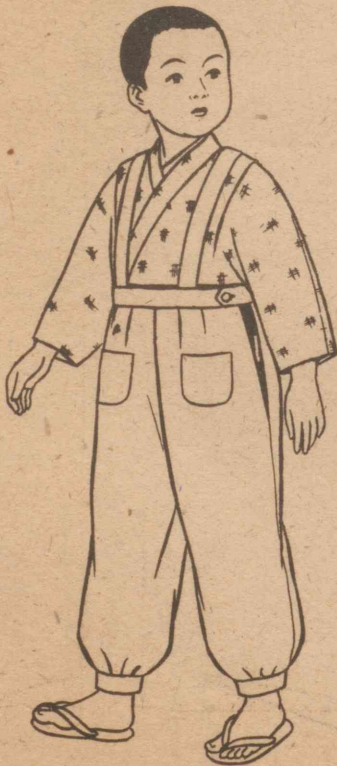


その三



形

その四 (六―七歳用)



型紙 その四

これまで學んだ型紙の取り方の應用でできます。

裁ち方・縫ひ方

着方・手入れ

二 幼 兒 服

三男児服

三男児服

一形

(七・八歳から十四・五歳)



(三・四歳から五・六歳)



二 材料

用布

附屬品

三 寸法

身長

腰まはり

胸まはり

また上

脇丈は、季節によつて加減しますが、胸まはりの二センチ(五分)ほど上から適當な所まで測ります。割出しによるならば、膝上ぐらゐのものでは、身長の十分の三ぐらゐにきめます。

また上は身長の五分の一センチ(五分)加へます。

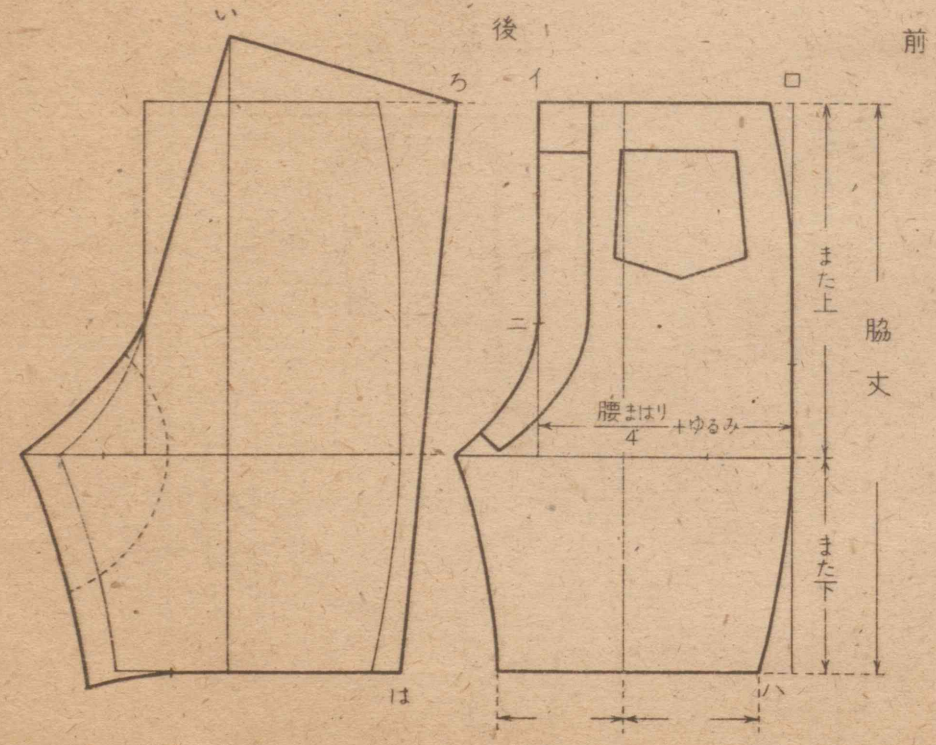
身長  
腰まはり  
胴まはり  
また上

脇丈は、季節によつて加減しますが、胴まはりの二センチ(五分)ほど上から適當な所まで測ります。割出しによるならば、膝上ぐらゐのものでは、身長の十分の三ぐらゐにきめます。

また上は身長五分の一に二センチ(五分)加へます。

四 型紙及び裁ち方

(一) 半ズボン



三男児服

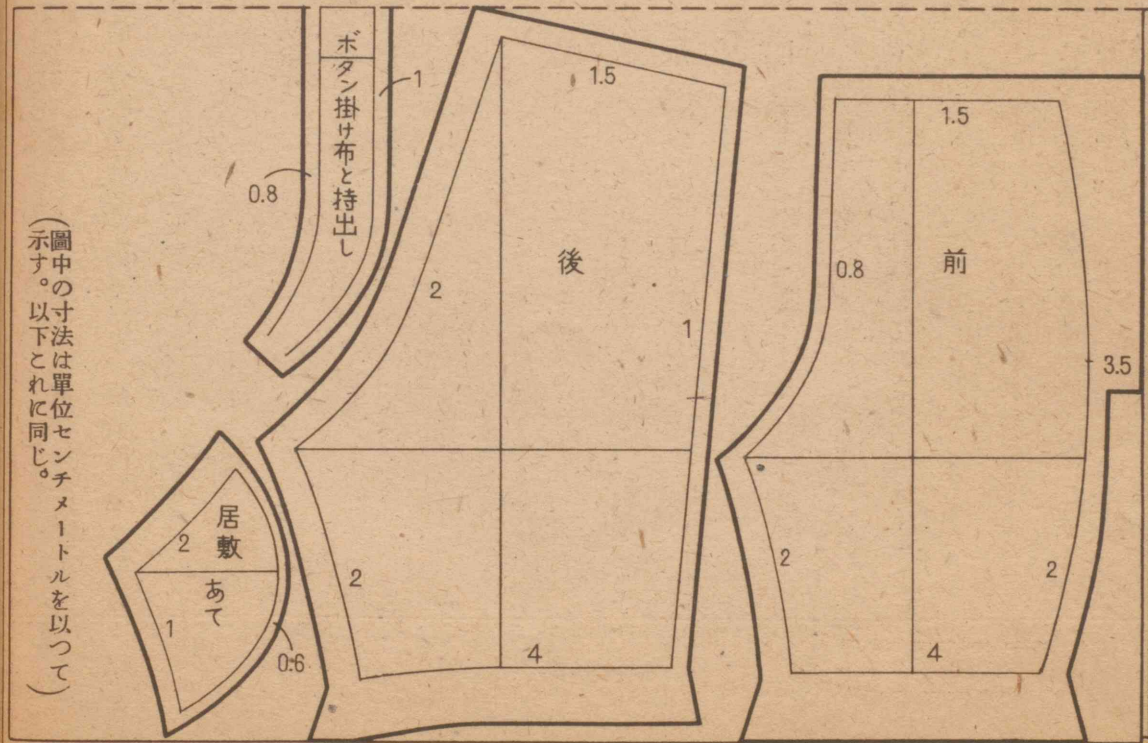
三男兒服

布幅 七六センチ(二尺)

身長

腰まはり

六〇センチ(一尺六寸)



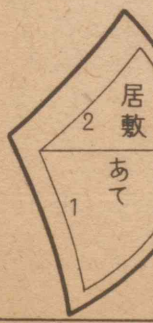
(圖中の寸法は單位センチメートルを以つて示す。以下これに同じ。)

縫ひ代

イ 前布 後布

ロ ボタン掛け布(表裏)と見返し

(圖中の寸法は單位センチメートルを以つて示す。以下これに同じ。)



縫ひ代

イ 前布 後布

ロ ボタン掛け布(表裏)と見返し

ハ 持出し

ニ 居敷當て

ホ 脇あけの見返し

ヘ 腰裏

ト 腰心

縫ひ方

イ くせ取り

ロ 裾を整へて折り、折り返りの間の縫ひ代を揃へます。

ハ 後また上縫ひ 縫ひ目は割ります。

ニ 居敷當て

また上を縫ひ合はせて、縫ひ目を割り、周囲を

折つて、表(裏)に當て、まつりつけます。この

時また下の縫ひ代分だけ残しておきます。

ホ 脇あけの始末

ヘ 前あきの始末 ボタン掛け布の裏表を合はせて、

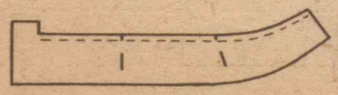
上は一・五センチ(四分)、下は一センチ(三分)

残して縫ひ、表へ返して穴かゝりをします。

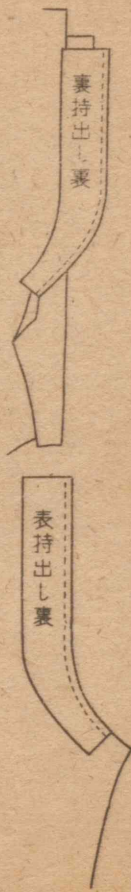
持出し布の表を下前の前あきに當て、上端は出来上り線から

三・五センチ(九分)、下端はあき止りの線まで縫ひ合はせ、縫

ひ目を割ります。

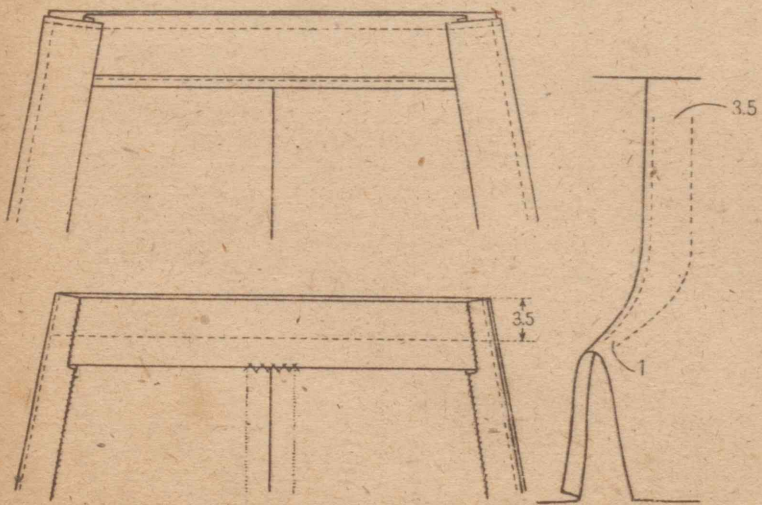


次に持出しの裏布を重ねて、外側を縫ひ合はせます。



上前の前あきに見返しを縫ひ附けます。上端は出来上り線から三・五センチ（九分）残し、下はあき止りまで縫ひます。

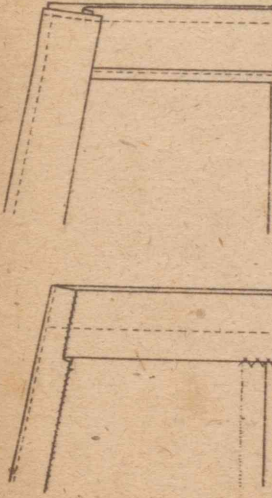
次に、上端の縫ひ残しとあき止りから下とを左右縫ひ合はせて、縫ひ目を割り、表へ返し、見返しの端と下前の持出しの縫ひ目をミシン縫ひにします。この時、持出しの裏もおさへます。



ボタン掛け布を裏に當てて假縫ひをし、表から、圖のやうにとお附けます。あき止りにはさしくわんぬきをします。

ト 脇縫ひ

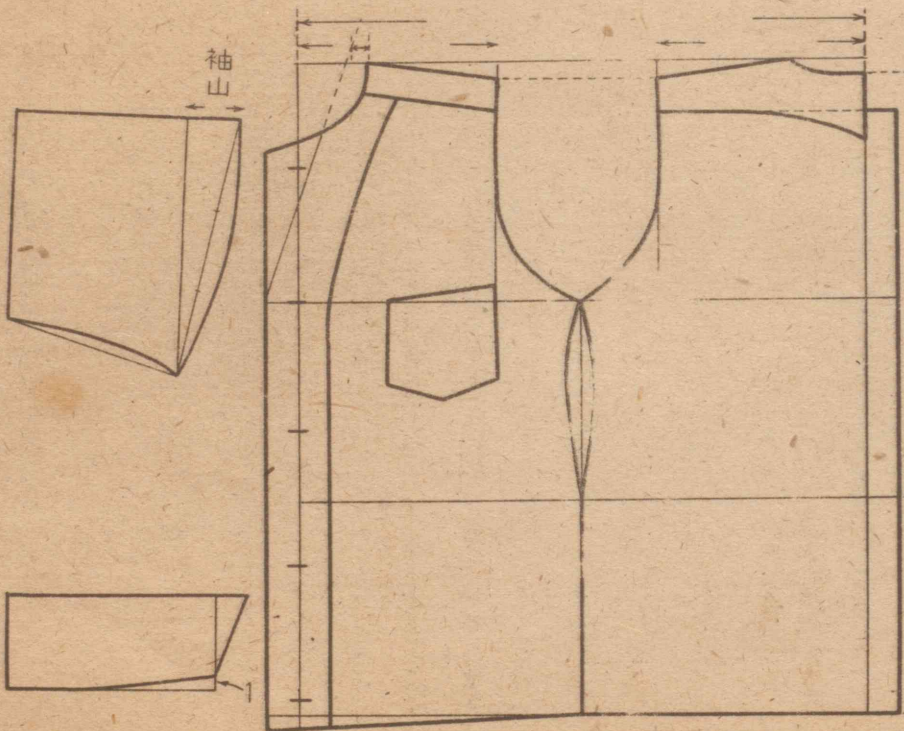
チ 腰心



ボタン掛け布を裏に當てて假縫ひをし、表から、圖のやうにとお附けます。あき止りにはさしくわんぬきをします。

- ト 脇縫ひ
- リ 腰裏
- ル また下
- ワ 仕上げ
- チ 腰心
- ヌ 脇の飾りミシン
- ヲ 穴かぶり
- カ ボタン附け

(二) 上衣 丈、 $\frac{1}{2}$  背丈の $\frac{2}{3}$



袖山

三男兒服

昭和二十二年三月二十二日 翻刻印刷  
昭和二十二年三月三十日 翻刻發行  
〔昭和二十二年三月二十二日 文部省検査済〕

高等科裁縫 第二學年用（第一分冊）

定價金 四拾錢

著作權所有 文 部 省

著作兼 發行者

東京都京橋區銀座一ノ五

翻刻 發行者 大日本圖書株式會社

代表者 佐久間 長吉郎

印刷者 佐久間 長吉郎

印刷所 東京都牛込區市谷加賀町一ノ三  
大日本印刷株式會社

Approved by Ministry  
of Education  
(Date Mar. 22, 1946.)

發行所 東京都京橋區銀座一丁目五番地  
大日本圖書株式會社